



R342

鳥取県知事 平井 伸治 様

届出者 住所 広島県広島市南区段原南1丁目3-52
 氏名 イオンリテール株式会社
 中四国カンパニー支社長
 松本 信男

鳥取県地球温暖化対策条例第8条第5項（第9条第3項）の規定により次のとおり提出します。

住所（主たる事業所の所在地）	広島県広島市南区段原南1丁目3-52						
氏名（名称及び代表者の氏名）	イオンリテール株式会社 中四国カンパニー支社長 松本 信男						
主たる業種	56：各種商品小売業						
該当する事業者要件	<input checked="" type="checkbox"/> 鳥取県地球温暖化対策条例施行規則第4条第1号に該当する特定事業者 <input checked="" type="checkbox"/> 鳥取県地球温暖化対策条例施行規則第4条第2号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 鳥取県地球温暖化対策条例施行規則第4条第3号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 特定事業者以外の事業者						
計画期間	令和元年4月 ～ 令和4年3月						
温室効果ガスの排出量等	排出区分	基準年度（実績） 平成30（2018）年度 （二酸化炭素換算）	目標年度（計画） 令和3（2021）年度 （二酸化炭素換算）	増減率	報告年度（実績） 令和3（2021）年度 （二酸化炭素換算）	増減率	
	排出量（1）	15,546.2 t	15,079.8 t	△ 3.0 %	12,336.0 t	△ 20.6 %	
	実績に対する自己評価 ①LED照明、空調機器、冷ケース等きめ細かい点検・修理等管理の徹底と省エネタイプ機器への入替投資。 ②ISO14001の年間目標管理に基づく、電気使用量の削減への月度毎、四半期末の目標管理と改善。 ③従業員への省エネ教育、訓練や目標管理の見えるか等を通じて省エネ意識を高めることが出来た。						
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	用途区分	原単位の指標	基準年度（実績）	目標年度（計画）	増減率	報告年度（実績）	増減率
	イオン日吉津店	二酸化炭素換算 延床面積	278.90 t-Co2/千㎡	270.53 t-Co2/千㎡	△ 3.0 %	215.65 t-Co2/千㎡	△ 22.7 %
	イオン鳥取北店	二酸化炭素換算 延床面積	228.85 t-Co2/千㎡	221.98 t-Co2/千㎡	△ 3.0 %	199.94 t-Co2/千㎡	△ 12.6 %
	イオン鳥取店	二酸化炭素換算 延床面積	374.07 t-Co2/千㎡	362.85 t-Co2/千㎡	△ 3.0 %	275.38 t-Co2/千㎡	△ 26.4 %
	イオン津ノ井店	二酸化炭素換算 延床面積	377.08 t-Co2/千㎡	365.77 t-Co2/千㎡	△ 3.0 %	250.24 t-Co2/千㎡	△ 33.6 %
	イオン米子駅前店	二酸化炭素換算 延床面積	515.43 t-Co2/千㎡	500.01 t-Co2/千㎡	△ 3.0 %	397.94 t-Co2/千㎡	△ 22.8 %
	実績に対する自己評価 ①引き続きコロナ禍で夏季・冬季の空調強化の為、冷暖房の使用増加が大きく省エネ効果が現れにくく、特に、モール店舗は、出入口多く影響が多かった。 ②2021年度は、LED照明・空調機器・冷ケース等きめ細かい機器管理の継続と入替の促進は出来た。						
寄与的取組	取組区分	目標年度（計画）		報告年度（実績）			
		実数値	二酸化炭素換算の削減量	実数値	二酸化炭素換算の削減量		
	再生可能エネルギーの利用による電力又は熱の供給	（売電量）	kWh	t	（売電量）	kWh	t
		（熱供給量）	GJ	t	（熱供給量）	GJ	t
	再生可能エネルギーの利用による二酸化炭素の排出削減の量等を表すものの購入	（購入量）	t			t	
	森林保全による二酸化炭素の排出削減の量等を表すものの購入	-	-	t	-	-	t
電気、ガスその他のエネルギーの使用の合理化による二酸化炭素の排出削減の量等を表すものの購入	（購入量）	t	（購入量）	GJ	t		
削減量等合計（2）			0 t				
差引排出量（1）－（2）	基準年度（実績）	目標年度（計画）	増減率（計画）	報告年度（実績）	増減率（実績）		
	15,546.2 t	15,079.8 t	△ 3.0 %	12,336.0 t	△ 20.6 %		
推進体制	①弊社は「ISO14001」を取得し、その推進体制の基づき環境負荷の軽減やエネルギー使用削減に取組んでおります。 ②ISO推進体制は、各店舗において店長は、ISO推進責任者、人事総務課長がISO推進担当者として、電気使用量・資材使用量の削減目標を設定しています。各店担当者は、推進管理を行い、削減目標と実績を見える形で従業員に提示し更なる削減に取組んでおります。 ③省エネ投資は、LED照明、空調、冷ケース中心に計画、省エネ進捗管理はチェックリストを使用して定型化推進。						
年度ごとの具体的な取組及び措置の計画	年度	設備、対象、工程等	内容				
	2021年度	電気エネルギー削減	省エネ投資（LED照明入替、空調設備の入替、冷凍食品ケース平台型からリーチイン（扉型）に入替				

	2021年度	廃棄プラスチックの推進	レジで配布のビニール買物袋の持参運動を推進して2020年度持参率864%を90%目標に進行管理を進めた。
	2021年度	省エネ進捗管理の推進	各店舗とも共通ツール「省エネチェックリスト」に基づいて温度管理、時間管理を徹底して約1割目標に省エネを推進してゆく。
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	①イオンは、国内外の植樹活動を1991年から実施して、2020年2月現在植樹合計本数12,121,780本に達して、今後も活動を継続強化して、緑の多い店舗を地域のお客様と作って行き緑のあるショッピングセンター作りに取り組んでいきます。 ②イオンチアーズクラブ（エコクラブ）活動を通じて環境活動に取り組んで、子供達に環境保全の重要性を教育しております。		
特記事項			

注1 該当する□には、レ印を記入してください。

2 本計画書における温室効果ガス排出量は地球温暖化対策の推進に関する法律第21条の2第3項に規定する「温室効果ガス算定排出量」の算定方法と同様の方法により算定した量を行います。

3 本計画書は鳥取県内における事業活動について記載してください。

4 主たる業種には、統計法（平成19年法律第53号）第2条第9項に規定する統計基準として定める日本標準産業分類のうち中分類を記入してください。

5 「基準年度」とは計画期間の前年度を、「目標年度」とは計画期間の最終年度をいいます。

6 「原単位当たりの温室効果ガス排出量等」の「用途区分」には、〇〇工場、事務所などの用途を記入してください。「原単位の指標」には、分子の「二酸化炭素換算」の下に分母となる指標（生産数量、延べ床面積、走行距離等）を記入してください。

7 「特記事項」には、平成2年度（1990年度）を基準とした排出量の対比や省エネ製品開発など他者の温室効果ガス排出削減への貢献、グリーン調達を採用などを記入してください。